

せとうち美術館ネットワーク 特別講演会 2016



美術館教育へのアプローチ
～ワークショップほかHands-On, VTS, AL…手法を探る～
2016.11.27

前田ちま子

項目

- 1 ニューヨーク近代美術館 (MoMA=Museum of Modern Art)
ビクトル・ダミコ：ワークショップ Workshop
- 2 対話型鑑賞法 VTS = Visual Thinking Strategies
ニューヨーク近代美術館
- 3 こども博物館：ハンズオン Hands-on
Interactive Approach: Hands-on + Minds-on
- 4 こどもの城：ワークショップ=展示・体験・制作
- 5 博学連携：初めて出会う作品への興味と関心
 - ・博物館、美術館、児童館、回想法センターなど他機関の交流
 - ・雑録的観察眼+動的鑑賞学習
- 6 アクティブ・ラーニング：Active Learning
 - ・ワークショップの企画
 - ・英語による美術の学習および美術による英語の学習方法
ーワークショップ環境における協同学習の視点からー

4 こどもの城造形スタジオ

展示・体験・制作



National Children's Castle

東京青山 こどもの城(国立児童総合センター)1985 当時厚生省建設

施設

ワークショップ
者の参加
している

館

者施設

養護老

ユニテ

の他

校 通
絡

こどもの城・造形スタジオの活動

ワークショップ

ワークショップ環境設定の構成要素

展示 制作意欲を促すもので、素材、色、形、技法、参考資料、作り方、アイデアなど、視覚探索体験をする

体験 積極的な制作や行動を促すために、触ってみる、手を動かしてみ、確かめてみる体験をする

制作 視覚的、触覚的、視覚的思考の総合的な体験の場。見て、触って、聞いて、試して、手を動かし、頭を使い、イメージを具体化して、ひとつのものを作り上げるという過程を経験する。

ワークショップ活動設定の3つの視点

素材との出会い展

造形活動に不可欠な、紙、木、土、金属などの素材をテーマに取り上げ、多角的な視点で素材と出会う。

造形発見展

音、光、空気などを造形表現の手だてとして扱い、探索し発見することを目的に、造形の周辺領域から造形を考える。

オープンスタジオ

素材、道具、技法の関係を統合的に体験する。

こどもクリエイティブクラブ

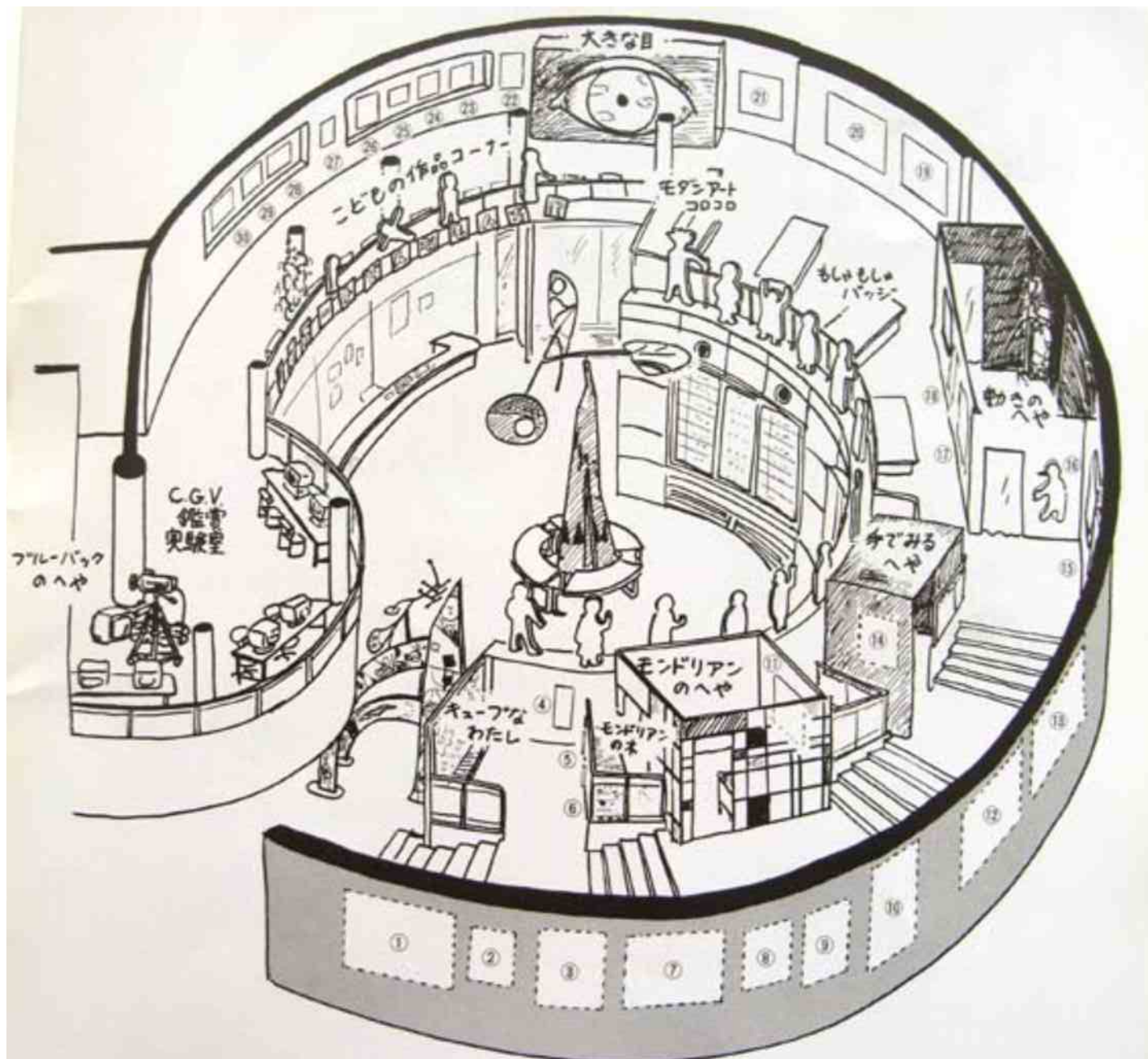
グループ活動

What's Modern Art?!

モダンアートどんなもんだ?!

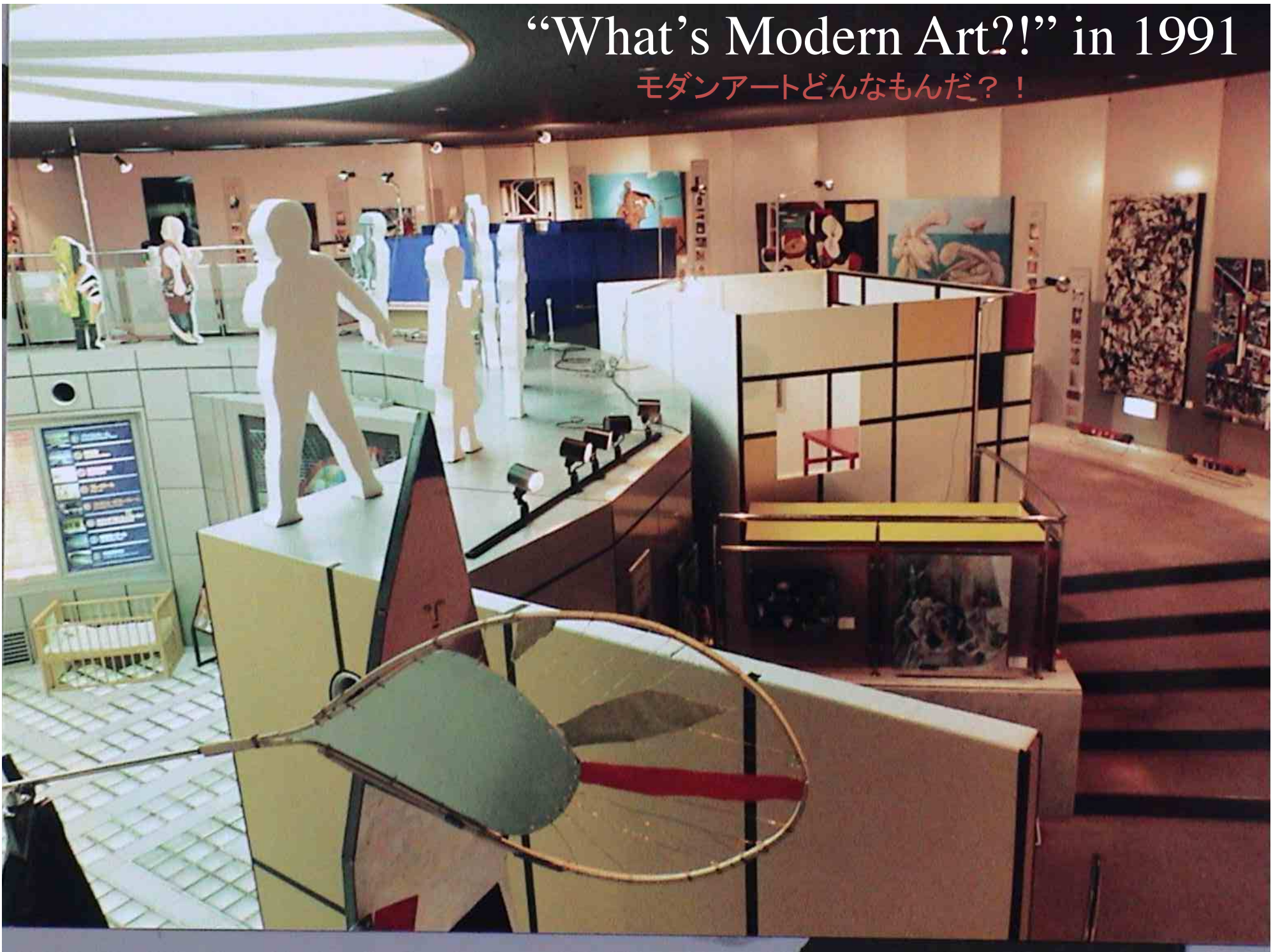
グッゲンハイム・コレクションをつかった
“こども体験美術館”
1991.Summer
[セゾン美術館からの依頼]

「モダンアートどんなもんだ?!」参加型体験の会場図面

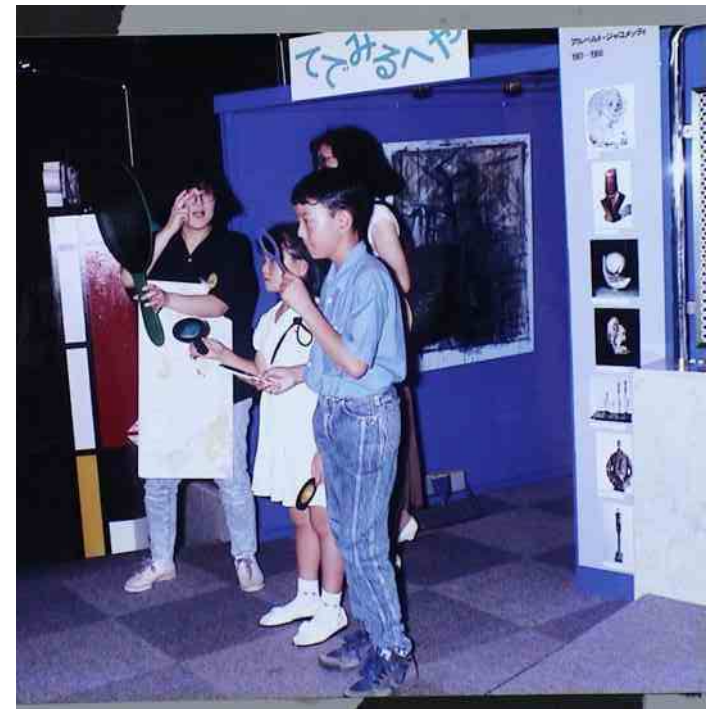


“What’s Modern Art?!” in 1991

モダンアートどんなもんだ?!



- 展示した絵は実物と同じ大きさの写真パネル
- こどもたちは実物を美術館に見に行くことができる
- 複製画であって、絵をみるマナーは実物と同じように伝える
- 遊び場の空間のため自分のスペースとして主体的に美術作品を楽しんで見る





Worksheet

Gallery Tour

■ The exploring exhibition gallery was set up with the same sized thirty photocopy reproductions as the actual paintings with hands-on activities and workshops as well as the gallery tours.

■ Those actual art works of the Guggenheim Collection were exhibited with another one hundred masterpieces at the Saison Art Museum, Tokyo.





Mondrian's Room

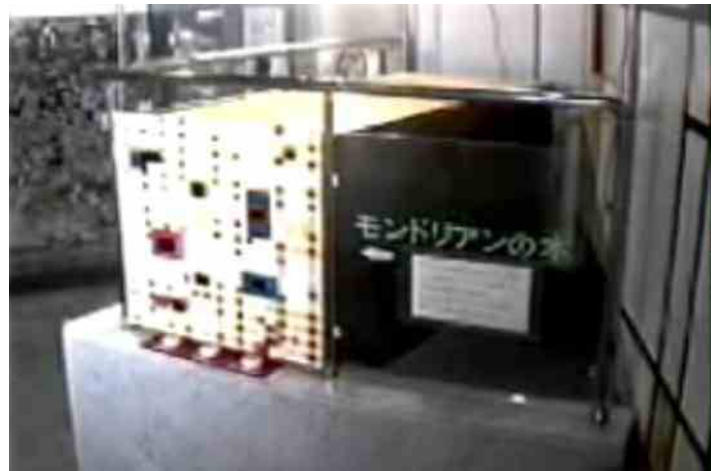




3D caption



inside



Tree of Mondorian



My Cubism



False Mirror: Magritte



Voice of Space: Magritte



"Touch Box"



Green Back





「影」をテーマにしたグループ活動“かげをうつそう”



